

## 青仁会のご利用案内

精神科・神経科・心療内科 **青南病院** TEL 0178-27-2016

●受付時間/8:30~11:30 午後は予約診療となります。土曜日午後・日曜日休診  
医療機能評価認定病院です。

通所リハビリテーションセンター **青陽館** TEL 070-6955-5453

●様々な社会復帰に向けたプログラムを用意しています。

### はちのへ認知症疾患医療センター

●認知症の対応や治療等お気軽にご相談ください。 TEL 0178-27-5977

介護老人保健施設 **南山苑** TEL 0178-27-3027

高齢者通所リハビリテーション施設 **南陽館** TEL 0178-27-3009

●入所及びショートステイ、デイケアなどお気軽にご相談下さい。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) **南寿の里** TEL 0178-20-9898

●家庭的な雰囲気を提供いたします。気軽にご相談下さい。

訪問看護・介護ステーション **五福** 看護 TEL 0178-70-1622  
介護 TEL 0178-32-0088

●営業時間/8:30~17:30(月~金曜日)  
営業日・営業時間外の訪問についてご相談に応じます。24時間体制で対応します。

サービス付き高齢者向け住宅 **悠湯の里** ♨天然温泉

●高齢者単身・夫婦世帯が安心して暮らせる住まいです。 TEL 0178-27-8888

## ライフコミュニティパーク みさわ

住宅型有料老人ホーム **南風苑** TEL 0176-58-5321

●高齢者が自分らしく暮らせる、ぬくもりのある施設です。

小規模多機能型居宅介護 **南天の郷** TEL 0176-58-5320

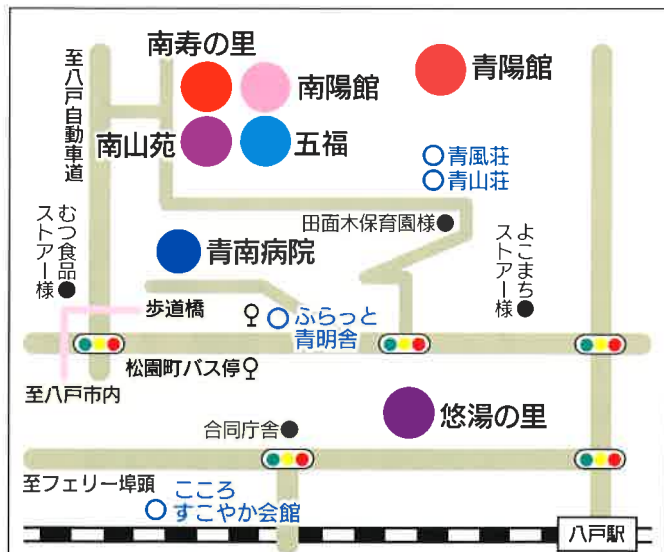
●住み慣れた自宅で生活したい「思い」を応援します。

サービス付き高齢者向け住宅 **悠楽の里** TEL 0176-58-5323

●悠々自適な快適生活を楽しめます。

心療内科・精神科・一般内科 **あおぞらクリニック** TEL 0176-58-0909

●受付時間/9:00~12:30 14:00~17:45  
診療時間/10:00~(土曜日・日曜日 休診)  
●三沢市と周辺市町村の方々のメンタルヘルスと健康管理に貢献します。  
●デイケア/月~金 9:30~16:30(昼食付)



当法人では意欲のある人材を募集しています。

ホームページ <http://www.seijin.or.jp/>

## 連携施設

公益財団法人 **こころすこやか財団** TEL 0178-27-7094

地域生活支援センター **青明舎**  
コミュニティスペース **ふらっと** TEL 0178-70-2088

生活訓練施設 **青山荘** TEL 0178-27-6638

グループホーム **青風荘** TEL 0178-27-7658

グループホーム **あおぞら・あおば**  
**あおめ・あおみ**

障害者就業・生活支援センター **みさわ** TEL 0176-27-6738

認知症対応型通所介護事業所 **結び家** TEL 0178-51-6131

居宅介護支援事業所 **ケアプランセンターまゆすい** TEL 0178-27-7211

青森県 **若年性認知症 総合支援センター** TEL 0178-38-1360



「コスモス」 Photo by E.Takanari

## 私達の理念

### みんなのために

すべての人達に、分け隔てない最善の医療を提供するよう努め、社会のニーズに応じて、自分達の出来る事を、実直に行っていきます。

### あなたのために

利用者本位を基盤とした、こころやかな医療環境と安心して受けられる安全な医療の提供に努めます。

### わたしのために

自分達の仕事に誇りと責任を持ち、自らに満足のいく仕事内容であるよう専心いたします。

発行者/医療法人青仁会 千葉 潜

発行日/令和元年 12月15日 年2回発行

※この冊子はスタッフにより作成されています。

おかげ様で60周年

2019.12 Vol.34 秋冬号

医療法人 青仁会 広報誌

# For

Our Policy is “For the Society , For the Patient , For Myself”



「中野もみじ山」 Photo by E.Takanari

## CONTENTS

- 特集『創立 60 周年を迎えて』.....1~4 ページ
- 病気について『ゲーム依存症』..... 5 ページ
- おすすめの一冊『心を磨く 中村天風 講演録』..... 6 ページ
- 花言葉『ノースポール』..... 6 ページ

本誌は視認性が高く、読みやすいデザインで制作しています。



# 創立60周年を迎えて

この度、医療法人青仁会は無事に**創立60周年**を迎えることができました。今回は、60周年を記念して青仁会の歴史や現在の施設を紹介していきたいと思ひます。

## 沿革・施設紹介

### 昭和34年11月3日 青南病院開院

「千葉 元」初代院長、「千葉 慧」初代理事長夫妻により八戸市田面木赤坂に、青南病院(41床)が開院されました。

当時はまだ地元に精神病院がなく、患者さんは盛岡市や青森市へ移送されている時代でした。



### 昭和53年～昭和59年 新病棟・新々病棟造設

現在の回復期治療病棟や新厨房・急性期治療病棟・慢性期療養病棟が増設となり、当時の患者さんたちの入院環境も大きく変わる事となりました。



### 昭和59年4月 千葉 潜 新院長就任

### 平成4年 介護老人保健施設「南山苑」開設

高齢化社会を迎え、「家で見る」という時代から「社会で見る」という転換の時期であり、その一翼を担うための施設として、介護老人保健施設「南山苑」が開設されました。利用者本人だけでなく、家族の負担も軽減し豊かな生活を送ってもらう役割を担っています。



### 平成8年3月 千葉 潜 理事長就任

### 平成26年11月 深澤 隆 新院長就任

その他にも、病院本館(外来管理棟・開放病棟)、通所リハビリセンター、高齢者専門の高齢者メンタルケア病棟(認知症疾患治療病棟)など、病院及び施設の整備・建築・改築を次々と行っています。また、精神障害者社会復帰施設、生活支援センター、生活訓練施設青山荘、グループホーム、福祉ホームなどが新設されました。(現在、こころすこやか財団へ移管)

それにより、治療システムと退院後のサポートシステムが構築され、患者さんひとりひとりにあった治療環境が提供できるようになった上、多くの患者さんが**退院を目指して、地域社会へと進める体制**ができました。

### 青南病院 (外来診療・入院診療)

外来では、地域での生活を維持できるよう、精神症状など病気から生じる生活のしづらさなどに対して、薬物療法をはじめ生活支援の助言や相談、専門的なカウンセリング等の治療を、プライバシーの保護を十分に配慮し提供しています。

入院では、病気・症状によって生じた精神的・身体的なダメージに対して、安全・安楽を第一優先としながら、生活リズムの改善をはじめとして、病気との付き合い方や対人関係の持ち方など地域に戻り生活をしていくために必要な治療・ケアを提供しています。



### 南山苑 (入所介護)

南山苑では、「入所・短期入所」のサービスを展開しています。在宅復帰の為の訓練の他、認知症ケアにも力を入れており、症状の緩和と進行予防の為、様々なプログラムを提供しています。ご本人様のペースに合わせたケアを提供できるよう、多職種によるチームワークを活かし、「笑顔を絶やさず、優しい心を忘れずに」をモットーにスタッフ一同、力を合わせて最善のケアを提供しています。

### 青陽館 (精神科デイケア)

外来通院されている方を対象に、様々なプログラムを通して、規則正しい生活リズムや、日常生活上必要となる知識・技能、集団の中での対人関係を学び、再発予防や就労、復学などを目指します。多職種が連携し、専門的な治療を行っています。



### 南陽館 (通所リハビリテーション) (認知症対応型通所介護)

南陽館では豊かで実りある生活を取り戻すためのお手伝いをしています。レクリエーションに留まらず、専門スタッフによる身体のリハビリ、物忘れ予防の他、認知症の様々な症状に対し一人一人に合わせ専門的な手厚いケアを提供しています。



## あおぞらクリニック

専門医による診療でストレスケア・メンタルケア・もの忘れ診断・児童外来を行っており、心理士による心理検査・カウンセリングも実施しています。

診療の他、訪問看護やリハビリの場所として精神科デイケア・ショートケアも実施しています。多職種連携をしながら患者様もご家族も安心できる医療を提供しています。



## 南天の郷 (小規模多機能型居宅介護)

「通い(通所)・訪問(ホームヘルプ)・宿泊(ショートステイ)」のサービスを、利用者様の生活スタイルに合わせて多様に組み合わせできる、定額制の便利な介護サービスです。親の介護が必要になる事で起こりうる「介護離職」の防止にも役立っており、「在宅介護」をされている方にとっても心強い味方で、ご本人もご家族も安心できるケアを提供しています。

## 悠楽の里 (サービス付き 高齢者向け住宅)

悠楽の里は恵まれた環境に広い居住スペース、専門スタッフによる心のこもった見守り・生活相談で、入居者様へ安心・安全な生活を提供しています。

また、施設内のレストラン味彩亭ではプロの管理栄養士、調理師が入居者様の健康とバランスを考えた食事を提供しています。

## 南風苑 (住宅型 有料老人ホーム)

快適な空間と24時間見守りの安心・安全な生活を提供しています。また、重度の認知症の方にも対応しています。



令和1年8月 ガーデンフェスティバル

## これからの青仁会

現代社会では、心の病に陥る人が増加しその状態も多種多様化しています。また、高齢化社会を迎え、認知症となる方も増加傾向にあり、2025年には65歳以上の高齢者のうち5人に一人は認知症となるという推計も出されています。

その中で私たち青仁会は、需要の高まる精神医療と高齢者介護の中核を担う存在として、患者様やその家族のニーズに全力で対応する必要があります。

精神領域、高齢領域、総合支援領域それぞれの分野のスタッフが協力し合い、現在だけでなく今後を見据えたサービスを提供し、地域での私たちの役割を果たしていきたいと思ひます。



## 60年を迎えて



千葉 潜 理事長

昭和34年に開設された青南病院が法人化されて医療法人青仁会が産声を上げました。

以来、地域に貢献することを基本姿勢として活動し、60年が経ちました。この間に、高齢者福祉・介護サービスの充実も加わり、一方で精神障害者福祉サービスは公益財団法人こころすこやか財団を設立して分離移管するなどの進化を遂げてまいりました。時代の変化と要請に合わせて、その身の丈を変え、整備して対応をきています。とりわけ昭和59年以降は建物設備の近代化に努めて良質なサービス提供の環境構築を進めております。同時に、スタッフの技量向上と人員充実も行ってまいりました。これまでいくつもの難儀な課題を克服しながら、多くの方々のご支援・ご協力をいただき、現在を迎えていることに感謝いたします。今後も、一層のご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

## これからの60年に向けて



深澤 隆 病院長

病院開設当初より当法人は地域の皆様のご支援や関係機関のご協力のおかげで無事に60周年を迎えることが出来たことに感謝いたします。少子高齢化が加速し、社会情勢もめまぐるしく変化するなかで、今後は私たち精神科病院への患者さんや家族、地域からのニーズや期待もより大きくなるものと考えております。これからの60年は、こころの病に悩む当事者や家族に寄り添いながら、こころのこもった質の高い精神医療を提供し続けることが出来るように、法人の全職員が一丸となり精一杯努力してまいります。『地域社会に貢献し地域と共生する』を目標とし、これまで以上に積極的に活動して参りますので、これまでと同様のご支援やご助言を何卒よろしくお願ひいたします。

## 60周年記念のメッセージ

青仁会 理事  
社会福祉法人 昭壽会  
理事長  
寺澤 昭二様

創立60周年、誠におめでとうございます。精神医療のみならず、芸術療法や障害者福祉に多大なる貢献をしてきた事は千葉潜理事長をはじめ、職員の皆様のご努力の賜りと、心よりお喜び申し上げます。

青南病院には協力病院として多大なるご支援を頂いております。

今後も地域の精神科医療の要としてさらに発展していく事をお祈りいたします。

青仁会 評議員  
こころすこやか財団  
代表理事  
松倉 典子様

創立60周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。創立以来長きにわたり、地域の精神科医療に貢献され、患者様とともに歩み、ともに喜ぶという姿勢を崩すことなく、今日まで尽力されてきた職員の皆様の努力と功績に敬意を表します。今後も地域の精神科医療の中核として、そしてよりよい医療・よりよいケアを提供する法人として、ますますのご発展とご活躍を祈念いたします。

青仁会 評議員  
有限会社 青春  
代表取締役  
勝田 仁様

創立60周年は、令和元年の節目にあたりお祝いに相応しい年になりましたことを心よりお祝い申し上げます。昭和50年頃から今まで千葉理事長とともに建築に携わって参りましたが、常に新しい発想と実行力に驚かされてきました。それが現在の青仁会の基になっていると思ひます。今後も柔軟性と順応性を持って如何なる変化にも適応し、勇往邁進し更なる発展を心からご祈念いたします。



# ゲーム依存症

## ゲーム依存症

世界保健機構(WHO)は2018年6月ゲーム等のやり過ぎで日常生活に支障をきたす依存症を「ゲーム障害」{ゲーム依存症}として精神疾患に認定している。厚生労働省は中高生約93万人にオンラインゲーム等を含むネット依存の恐れがあると推計。

次の様な状態が12ヶ月以上続くとゲーム依存症が疑われる

- ・ゲームをする時間や回数などをコントロールできない。
- ・日常生活や関心事よりもゲームが優先する。
- ・健康や生活上の問題が起きてもゲームを続ける。
- ・ゲームにより、個人、家庭、学業等に重大な支障が出ている。



### (対策1) ルールを決める

1日1時間、土日だけなど簡単なルールを作りましょう。またルールは子供本人に決めさせてあげると、自分で決めたルールなので守ろうとします。



### (対策2) ゲーム機はリビングに置く

できるだけ親の目が届くところでゲームをさせることで「1時間たったからやめようね」などの親からの声かけができます。また隠れてゲームをするのを防ぐことができます。



### (対策3) ゲーム時間を記録する

最近のゲーム機はゲーム時間やどんなゲームをしたか記録することができます。親が思っていたよりも、プレイ時間が長かったり、暴力的なゲームをしていたりしても、親として指導・管理することができます。



### (対策4) ゲーム以外に好きな事を作る

子供がゲーム以外に興味のあることを見つけてあげましょう。読書や音楽鑑賞、絵を描くなど。スポーツジムに通ったり、ジョギングなど体を動かすこともいいでしょう。



ゲーム以外に没頭できる何かを見つける、いろんな分野に興味を持たせることが、ゲーム依存症、障害から抜け出せる近道になります。

#### 青南病院のご案内

診療科:精神科・神経科・心療内科・内科  
受付時間:月~土曜日 8:45~12:00

TEL 0178-27-2016

#### あおぞらクリニックのご案内

診療科:精神科・心療内科・一般内科  
受付時間:月~金曜日 9:30~17:45

TEL 0176-58-0909

## おすすめの1冊

# 心を磨く 中村天風 講演録

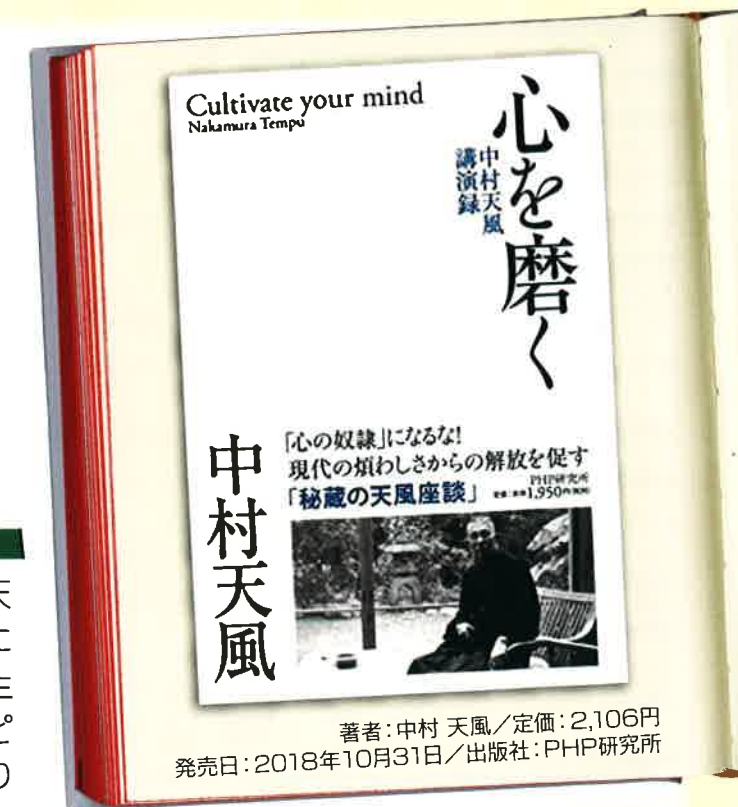
### 書籍紹介

2018年12月、没後50年を迎える中村天風。かつて、「心身統一法」の講習会の最後の日に話された“門外不出”の講話を厳選収録。「人生をいかに生きるか」という命題を、自身のエピソードを交えながら、ユーモアにあふれた語り口で説く。その内容は、「自分とは何か」「心にはどのような働きがあるのか」「意志とは何か」など、人間が日々考え続けなくてはならない人生真理ばかり。世代を問わず堪能できる、天風座談の決定版。

### 所感

中村天風さんとの対話を通して、現代のストレス社会で必要とされる“感情のコントロール法”をまなぶことができます。心身の疲れを感じている現代の忙しい皆様には是非読んでいただきたい一冊です。

広報委員会 山田 眞子



## 花ことば 花言葉:誠実・冬の足音・高潔

# ノースポール

科・属名:キク科 / 見頃:12月~6月

属名の学名「Chrysanthemum(クリサンセマム)」は、ギリシア語の「chrysolos(黄金)」と「anthemon(花)」が語源になります。ノースポールはサカタのタネ社の商品名ですが、一般名としても定着しています。株全体を白くおおうように花を咲かせる姿が北極(ノースポール)の白い大地を連想させることにちなみます。英語ではマーガレットに似ていることから「Mini marguerite(小型のマーガレット)」や「Snow daisy(雪のデイジー)」などと呼ばれます。

